

みんなで作る園の未来!

# 保育ナビ

2026  
JULY  
<4/12>

7

特集1

## 0歳からの 学びと育ち

特集2

## スウェーデンの 幼児教育の今

科学者の視点でつくった環境は「余白」の中で遊びに没頭シームレスな環境が自然への感度を育む

子ども、保護者、園  
みんなで楽しむ 園行事  
フェスティバル

園のミドルリーダー育成講座  
計画的な  
ミドルリーダーの育成

2026年度は、「子どもというワクワクが広がる！園がまちの『未来』になる」  
をコンセプトに、内容をお届けします。

## 『保育ナビ』の使い方

### 読む

まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。



### 語り合う

読んだ記事をもとに、園内で「雑談」をしたり「研修」をしたりしてみましょう。



### 保育の質の向上へ

読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。



### 【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

マークのついているコーナーではワークシート等のダウンロードができます。

マークのついているコーナーでは、関連動画があります。

右の二次元コードからアクセスするか「保育ナビ」で検索してください。



保育ナビ

※ダウンロード期限は、2027年3月31日までです。

『保育ナビ』は、  
編集委員が  
サポートしています。

秋田喜代美（学習院大学）  
浅井幸子（東京大学）  
大方美香（大阪総合保育大学）  
大豆生田啓友（玉川大学）  
北野幸子（神戸大学大学院）  
古賀松香（京都教育大学）  
境愛一郎（共立女子大学）  
汐見稔幸（東京大学名誉教授）  
砂上史子（千葉大学大学院）  
松井剛太（香川大学）  
無藤隆（白梅学園大学名誉教授）  
矢藤誠慈郎（保育のデザイン研究所）  
敬称略 50音順

★編集委員から読者の皆さんへの  
メッセージを月替わりで配信します。  
詳しくはP.32へ！

『保育ナビ』が  
伝えたいこと

子どもを1人の人間として  
尊ぶことから

国の3要領・指針改訂に向けた議論が進む今、改めて「乳幼児保育の本質」の共有が求められています。今の特集1は「0歳からの学びと育ち」。現場の「当たり前」や「無意識のふるまい」を立ち止まって見つめ直す一助となれば幸いです。生まれたその日から、子どもを1人の人間として尊ぶ。保育者がその原点を深く心に刻むことこそが、保育の質を高める確かな一歩となります。

——『保育ナビ』編集部

## 巻頭

フレーベルのこぼれ 汐見稔幸 小西貴士

## スペシャル対談

リ) 子どもの言葉にならない声を聴くために、自分をチューニングしていく…4

山口有紗 (小児科専門医、子どものこころ専門医)  
山本久瑠美 (JICAヨルダン事務所所属)

## 特集1

園) 0歳からの学びと育ち

～0・1・2歳児保育の課題と可能性～…10

井桁容子 北野幸子



## 特集2

スウェーデン再訪

スウェーデンの幼児教育の今…18

中辻祥代 中辻見歩



## 注目テーマ

ここに注目！  
「保育の質」を捉え直すための  
12のキーワード…24

秋田喜代美

主) 学び合いが広がる！  
園と小学校の交流実践…26

無藤 隆

試してみたら、これは便利！  
保育ICT活用術…28

相馬靖明

リ) 園の未来を握るリスペクト型マネジメント  
少子化をチャンスに変える！  
多機能化と地域共創…30

大豆生田啓友

リ) 編集委員に聞く  
保育、ここがおもしろい！…32

大方美香

## 保育内容

主) 保育環境 科学者の視点でつくった  
環境は「余白」の中で遊びに没頭…34

汐見稔幸

3・4・5歳児  
遊びが育つ保育  
一思考力に焦点を当てて…36

田代幸代

主) 0・1・2歳児  
保育者のセンス・オブ・ワンダー  
～子どものみかた～…38

井桁容子

やってみよう！

子どもの姿ベースの指導計画…40

大豆生田啓友 佐伯絵美

子ども、保護者、園  
みんなで楽しむ 園行事…44

秋田喜代美

ルーティン業務から脱却！  
保育の“あたりまえ”見直し術…48

浅井拓久也

## 人材育成

園) 未来を拓く園づくり・職場づくり  
～人が育ち、幸せに働ける  
園を再構築…50

菊地加奈子

園のミドルリーダー育成講座…54

杉村基樹

## 国の動き

国の動きを読む！  
研究者の目2026…56

大方美香

## 園経営

経営コンサルタントが提案する  
変化する時代の経営戦略…58

桑戸真二 柳 修二

チャレンジの前の法律講座…60

木元有香

## エッセイ

園) 保育ナビエッセイ  
わたしの子ども時代…62

松島のり子

『保育ナビ』  
スペシャル対談  
2026

子どもの言葉にならない声を聴くために、  
自分をチューニングしていく



紛争や虐待など厳しい状況に置かれる子どもたち。そこに寄り添う仕事のお二人が語り合いました。山本久瑠美さんはJICA（国際協力機構）のヨルダン事務所に勤務。ヨルダンはパレスチナ、イラク、シリア等、歴史的に周辺国で勃発している紛争の影響を大きく受け、多くの難民を受け入れている国です。山口有紗先生は、子どものこころ専門医。虐待などの傷つきの経験をした子どもたちの相談に力を尽くしています。日本の保育現場にも通ずる、子どもの声を聴くための、深掘りの対談です。

（対談は2025年12月に実施）

### 山口有紗

（小児科専門医、子どものこころ専門医）

プロフィール●山口有紗（やまぐち ありさ）  
／小児科専門医、子どものこころ専門医。修士（公衆衛生学）。10代の時、精神的不調や入院などを経験。高校中退後イギリスでの単身生活や国際関係学部での学びを経て医師となる。現在は子どもの虐待防止センターに所属し、地域の児童相談所などで相談業務に従事。国立成育医療研究センター臨床研究員、元こども家庭庁アドバイザー。自治体のオンブズパーソンを務める。

### 山本久瑠美

（JICAヨルダン事務所所属）

プロフィール●山本久瑠美（やまもと くるみ）  
／JICA（独立行政法人国際協力機構）ヨルダン事務所所属。在学中に東南アジアのNGOでインターンシップを経験し、国際協力を志す。大学院にて修士号（国際公共政策学）取得。JICA入構後、民間連携事業部・経済開発部を経て、現在はヨルダン事務所にて、社会的に脆弱な立場にある人々（子ども、難民、障害者、女性など）が抱える課題に取り組む起業家支援プロジェクトや産業振興、投資促進にかかわるプロジェクトを担当。

## 窓で揺れる葉っぱと影を じっと観察

この0歳児はぼーっと外を見ているのではありません。窓で揺れる葉とそれに合わせて動く影をじっと観察しているのです。乳児の真剣な学びに保育者は気付いているでしょうか。



特集  
1

# 0歳からの学びと育ち

～ 0・1・2歳児保育の課題と可能性～

今、国では次の3要領・指針の検討会が開催され、「0歳児からの学びと育ちの連続性・一貫性の確保」を課題の1つとして議論が重ねられています。0・1・2歳児保育の課題と可能性について、乳幼児教育実践研究家の井桁容子先生にお話をうかがいました。

※2026年3月実施の第4回保育図書・保育雑誌編集委員会での講演内容より

## CONTENTS

### 提言

子どもの力を信じることから始まる保育 … 11

### オピニオン

井桁容子先生のお話を受けて … 14

### 対談 編集委員会発表を終えて

保育の本質：子どもの尊厳への  
揺るぎないまなざし … 16

井桁容子×北野幸子

## 子どもを1人の人間として 尊ぶ保育の原点

北野幸子

(神戸大学大学院)



今、保育界は教育観の大きな転換期にあります。小学校から見て「まだ、できない」という、遅れや不足を問う視点ではなく、誕生の瞬間から積み上がる育ちに目を向け、0歳児にも1人の人間としての権利があることを忘れてはなりません。乳児保育を深く知ることは、人権意識という保育の「根っこ」を学ぶことにはかならないのです。本特集では、一人ひとりの尊厳を大切にしている井桁容子先生の実践と研究を通じ、0歳からの豊かな学びと育ちのあり方を考えます。



## 乳児は相手の 目を見て つながろうとする

幼い子は人とつながろうとする時、こんなふうにして体を下げて目を合わせます。本能的にそうすることを知っているのです。保育者は1日に何回、子どもと目を合わせているでしょうか。

## 提 言

# 子どもの力を 信じることから始まる保育

## 実践を積み重ね、 今、伝えたいこと

42年間、私は保育実践の場において、養成校での指導にも携わりという立場でした。今、自分が積み重ねてきたものをお伝えしておかなければいけない。そんな思いで、研修や講演をお受けしています。現在、全国で15か所ほどの園で3年以上継続してアドバイザーを務めています。不思議なことにとどの園も3年目から保育がガラリと変わり、環境も保育者の姿勢も、感嘆するほどに進化を遂げます。その中で私が確信をもっていることが次の3つです。

第一に、子どもが本来もっている能力を知らずにかかわっている大人が多いということ。研修の後、

「子どもにここまで力があるとは知らなかった」という感想が非常に多くあります。第二に、子どもや保護者との関係で最も重要なのは「安心と安全」と「信頼」です。ここが満たされれば、「自ら育つ力」にスイッチが入ります。これはポリヴェーガル理論<sup>\*1</sup>やアタッチメントの観点からも裏付けられます。第三に、人と人とのつながりの重要性です。

## 子どもの能力への理解から 保育が変わる

乳児の五感は大人よりずっと優れているという研究は多くありますが、保育者がそれを知らないために環境づくりやかかわり方を間違えている場面がよく見られます。例えば「音」の問題です。「子ど

お話



## 井桁容子先生 (乳幼児教育実践研究家)

いげた ようこ / 乳幼児教育実践研究家。保育 SoW ラボ代表。非営利団体コードノミカタ代表理事。東京家政大学ナースリールームで長年、0～3歳児の保育と研究に従事。著書に『ていねいなまなざしでおもしろい!不思議!すごい!みえる乳幼児保育』(フレーベル館)など多数。

もが落ち着かない」「言うことを聞かない」とお困りの園で、試しに厚手のカーテンをつけてみると、驚くほど子どもの様子が変わることがあります。そのような落ち着いた環境では、乳児同士がかかわろうとする時、歩ける子でもわざわざ体を低くして目を合わせようとしています。でも、騒がしすぎる保育室では子ども同士のつながりは育たないのです。


また、保育者のかかわり方が間違っている場合もあります。保育室に入って保育者の視線を見るだけで、保育の質がわかることがあります。子どもとかかわる時に視線を合わせている保育者はどれだけいるでしょうか。

それと、多くの園で目にするのは、声もかけずに後からかひよいと子

\*1 自律神経系が環境の安全度に応じて「安心・安全」「動く・活動」「止まる・休む」の3段階の神経で反応するという理論



特集  
2

 スウェーデン再訪

# スウェーデンの幼児教育の今

2025年7月に就学前カリキュラムが改定されたスウェーデン。改定後の就学前学校はどう変わったのか。2025年9月、6年ぶりの再訪によって見えてきた「エデュケア」の進化と、子ども主導の「プロジェクト」について、写真とともに紹介します。

取材・監修／中辻祥代（社会福祉法人よしみ会理事長）

取材・文／中辻見歩（社会福祉法人よしみ会）

編集協力 こんべいとぶらねっと

今回訪れたのは

ソレンゲン・フィディンゲ就学前学校  
<https://pysslingen.se/solangen/>

ブリンケン就学前学校

<https://www.taby.se/verksamhetswebbar/barn-och-utbildning/brinkens-forskola/>

ピーハイブ就学前学校

<https://www.osteraker.se>



# 幼児教育は、基本理念「エデュケア」をベースに3つの柱で成り立つ

日本では35℃超と記録的な猛暑になった9月、私たちが訪れたスウェーデンは17℃と肌寒かったことを覚えています。2025年の7月、スウェーデンではプリスクールカリキュラム（就学前カリキュラム）の改定があり、

改定直後の就学前学校を視察できたことは、とても有意義な時間でした。

スウェーデンは日本の約1.2倍の面積でありながら、人口は約1,000万人と東京都より少ない国です。充実した福祉制度と男女平等の国であり、国全体で教育・福祉に力を入れていきます。スウェーデンの就学前学校は、学校教育の第1段階と位置づけられており、幼児教育の基本理念である「エデュケア」は、エデュケーション（教育）とケア（保育）を合わせた言葉です。それは民主主義の価値に基づいて築かれているものであり、その理念を中心に、プリスクールカリキュラム・子どもの権利条約・国の法律の3つの柱で幼児教育は成り立っています。これは、すべての就学前学校の土台であ

るため、子どもたちはどの就学前学校に行っても同じ教育を受けられることができます。

スウェーデンの幼児教育の特徴は、「子どもたちが遊びを通して様々なことを学ぶ」というところです。しかし、遊びながら学ぶというのは、保育者が何かを教える子どもが学ぶのではなく、遊びのなかで子ども自身が考えて学ぶという、子どもが主体であり中心であることが重要

です。

私たちはコロナ禍以前にもスウェーデンの就学前学校を視察しています。しかし、コロナ禍という世界が大混乱に陥った期間を経て、スウェーデンがどういう幼児教育にシフトしているのかを見て学びたいと思いました。今回の視察で学んだことは「エデュケア」の進化と「プロジェクト」というスウェーデンの幼児教育のあり方でした。

## デジタルからアナログへ

スウェーデンのプリスクールカリキュラムの改定により、大きく変わったのが、主に1歳から2歳の低年齢の子どもに対しての、デジタル化からアナログ化への回帰です。2歳未満の子どもにデジタルデバイスを使用させず、2歳以上の未就学児も1日1時間未満に制限すべきというWHO（世界保健機関）の勧告があったことや、実際にデジタル化へ大幅に移行していたスウェーデンでも、子どもの言語発達や運動能力、脳の活性化などに弊害があったからとされています。今回、訪問した園でもデジタル化による言語発達の遅れへの懸念から、読み聞かせや運動・健康に力を入れているとのことでした。日本でも、子どもの集中力が昔より長くもたないなどの話を耳にします。スマホなどデジタルデバイスに幼少期からかわかることの多いこの時代に、子どもとデジタルとの関係は日本も含め世界的に大きな課題かもしれません。



# 科学者の視点でつくった環境は 「余白」の中で遊びに没頭

タテノイトは「幼小中一貫のオルタナティブスクール」。幼児部は認可外保育施設です。お二人とも科学者の舘野さん夫妻が2020年に立ち上げました。科学者の視点をもちながら構成された、幼児部のとてもユニークな環境をご紹介します。



監修・執筆 汐見稔幸  
(東京大学名誉教授)

今月のテーマ

## シームレスな環境が 自然への感度を育む

### 近代社会からの脱皮の 試みとしての園づくり

タテノイトを初めて訪問した時、最初の印象は、「あれ、どこからが保育園なんだろう？」でした。境目が曖昧なのです。保育室もそう。ここから園舎という感じではなく、ここから保育室というでもない。でも、みんなの居場所にいつの間になつている。部屋もガラス張り、内と外を区切つてつなげている。書棚のうしろがガラス張りの壁という園は、ここしかないのではないか、と思いました。

現在、世界を一定の基準で細かく分けて、分けた中はできる限り同質化し内容を専門化して、それらをシステム化してつなげ、社会をできるだけ合理的にしていく、いわゆる近代社会づくりが、多くの面で行き詰まっています。

保育園とか学校とかもそうです。クラスを同年齢で組織し、スケジュー

ルに沿って保育を進め、園庭に囲みを作って関係のない人を入れないようにし、あらゆる面で世間と区切りをしっかりと入れる社会をつくってしました。子どもはそのシステムに組み込まれることを多角度から訓練されます。でもそれでは自分の人生を自分でつくっている気がしない！不登校の子どもの激増は、そうした社会への違和感、無理に社会化されることへの忌避感の表現でしょう。

今は、曖昧で、自分で意味をつくらることができる空間と時間を子どもたちに多様に保障することが、子どもたちのいのちを輝かせることになるとのだと思えます。キーワードは曖昧、適当、子どもの信頼、区切りの解体などでしょうか。インクルージョンとはまさにそうした意味なのだと思います。

大学研究者を辞め、子どもたちと一緒に研究しようという舘野さん自身が、ボーダーの解体を生きていますね。

テーマ予定 7月号 シームレスな環境 8月号 科学絵本の活用 9月号 森の活動

## 保育現場の声から

保育室はガラス張りで、子どもたちはどこで何をしてもいい。室内の遊びも外の遊びも、視覚で認識できますから、子どもが全部自分で選べて決められます。



ガラス張りの保育室。保育室から見ると、小上がり-土間-デッキ-庭とシームレスにつながっています。建築デザインが機能していますね



シームレスですから、科学絵本に載っていたものを、躊躇なく外に探しに行くことができます。その逆も。この日はフキノトウを見つけました



デッキで絵具遊びが始まりました。雨の日の遊び場にも。屋根は、大屋根と呼んでいいほど大きく、「アウトドアリビング」ですね



庭で果樹の実を摘み、たき火に集い、山の姿に季節を思う。抜群に魅力的な自然環境です。この日は鶏が卵を産んでいました

### 今回の実践園



副代表  
館野春香さん



代表  
館野繁彦さん

オルタナティブスクール  
タテノイト  
幼児部

### ガラス張りの保育室は ワクワクの窓口

保育室はガラス張りで、本当によく外の様子がわかります。庭は丸見えです。季節の変化も感じやすいし、何が起きているのか把握できるので、おもしろそうとなれば部屋からすぐに外へ。例えば、フキノトウの絵本を見ていて、思い立ったらすぐ庭へ探しに行くことも。外と室内が「シームレス」な環境です。

外と室内は、段階的につながられています。屋根のない庭から、屋根付きのデッキを通り、扉を開けて入れれば広い土間。土間は室内だけど靴を履いたままでいい。その土間で靴を脱げば小上がりに。靴箱はありません。「面倒くさい」が少なく、出入りのハードルが低いのです。

それと、遊びに没頭するには「余白」が大事です。庭に遊具を置かないのもそのためで、でも自然があります。私たちも自然への感度が高かったわけではなく、シームレスな環境で好奇心を刺激され、子どもたちはもちろん、私たち自身も自然を楽しむようになったんです。

# キンダーブックの 月刊保育絵本

詳しくは  
ホームページを  
ご覧ください



1冊からご購入いただけます。

お申し込みは貴園営業担当か営業支援チーム  
(03-5395-6608)、または「フレーベル館  
オンラインショップ」と検索してください。



7月号  
さめ

自然のしくみを伝え、  
子どもの『なぜ?』に答える科学絵本

**しぜん** 4・5歳児クラス  
科学絵本  
キンダーブック 定価 550円(税込)

## 保育に役立つ情報満載!!

“命のたいせつさ”や  
“しくみのおもしろさ”を伝え、  
考える力を育みます!

国文庫に  
ぴったり!

保存に便利な  
ハードカバー!



## 興味が広がるバラエティ豊かなラインナップ!

4月号 いちご	5月号 どうぶつの あかちゃん	6月号 じかん	ココ! 7月号 さめ
8月号 よるの えんてい	9月号 こめ	10月号 からだの ふしぎ	11月号 おおきくしてみると
12月号 せかいの いえ	1月号 ひつじ	2月号 ほし	3月号 みつばち

# 保育環境整備リストのご紹介

一般社団法人 幼児教育保育用品協会「保育施設整備リスト作成分科会」



リストは【管理・運営】【生活と行事】  
【あそび・まなび】の3つに分類されて  
います。場面や使用場所に合わせ  
た物品名が記載されています。

効率的な  
管理と計画!

場面	内容/使用場所
	机・テーブル

物品の有無の確認や数量を記入。物品  
の破損や劣化、過不足の確認等を自由  
に記入。購入予定や買い替え時期等の  
メモ欄としても活用できます。

チェック	実数	備考 (保管場所・状況・購入年)
○	5	
	30	脚キップ紛失2脚

探しやすい  
選びやすい!



## 子どもたちの豊かな環境を つくるヒントに!

モノづくりの知見と現場の声を反映した  
「保育施設のための環境整備リスト」。  
教材から遊具まで、安全・衛生を見直す  
目安として日々の保育にご活用ください。

### 活用シーン

- 新年度の準備や  
補助金申請の計画に
- 点検・改善の場面に
- 園内共有・職員研修に

リストの無料  
ダウンロードは  
こちらから



一般社団法人  
幼児教育保育用品協会

子どもたちの健やかな育ちのために、安全・安心な環境づくりを推進している業界団体です。